



平成 26年 4 月 22 日

## 2014 年度文学部講演会シリーズ等のご案内

社会科文化科学研究科（文学部）は、2014 年度文学部講演会シリーズ企画「つなぐ・つながる文学部」を開催します。昨年度好評を博した「ニホンガク最前線」シリーズを継続企画とするほか、新たに「若者と家族のいまをみつめる」シリーズを実施。講演会は、各回のテーマにかかわる映画上映や岡山地域の関係者による話題提供を含め、対話と交流の場づくりをめざします。

### シリーズ1 「若者と家族のいまをみつめる」

現代日本社会における家族のかたちの多様性は、メディアなどを通じて話題になることが多くなりましたが、それにもかかわらず、私たちの日常感覚の中では、あるべき家族の姿が固定的な形でイメージされているのではないのでしょうか。あたりまえと感じる家族イメージが強ければ強いほど、そうではない現実を生きる若者たちの姿は見えにくくなります。この講演シリーズでは、3つのテーマを設定し、講演や映画鑑賞に、当事者を交えた対話型のセッションを組み合わせた形式で行うことにより、当事者と参加者、参加者同士の間につながりを作り出すことをめざします。

### シリーズ2 「ニホンガク最前線」

日本の外から日本を研究することで見えてくる日本文化の特徴や魅力、問題点を探る講演シリーズを昨年度に続いて企画します。今年も多彩なテーマに迫ります。今年度第1回（通算第5回）のテーマは、「18世紀ヨーロッパの雑誌にみる日本」です。

### 文学部公開講座 「〈貧困社会〉への多様なアプローチ」

文学部プロジェクト研究の一つ「貧困・死に対する宗教者・思想家と社会的コンテクスト」の成果とつなげ、プロジェクト外の教員も参加する形で全5回の公開講座を9月～11月に実施します。

＜お問い合わせ先＞

岡山大学社会文化科学研究科（文学部）

教授 中谷 文美

（電話番号）086-251-8469